
令和6年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月4日

質問者（質問順）

- 1 藤崎 浩太郎 委員（立憲党）
- 2 くしだ 久子 委員（維新会）
- 3 みわ 智恵美 委員（共産党）
- 4 鴨志田 啓介 委員（自民党）
- 5 大桑 正貴 委員（自民党）
- 6 安西 英俊 委員（公明党）
- 7 二井 くみよ 委員（民主フ）
- 8 輿石 かつ子 委員（無所属）
- 9 大野 トモイ 委員（トモイ）

総務局

局 別 審 査

1 藤 崎 浩太郎 委員（立憲党）

1 危機管理について

- (1) 拠点運営委員の意見も取り入れながら備蓄品の内容を見直すべきだと考えるがどうか。
- (2) 避難所での受付のデジタル化や在宅避難のオンライン登録など、デジタル化を早急に進めていく必要があると考えるがどうか。
- (3) 避難生活の長期化対応として、各種計画や地震防災戦略における対策が必要だと考えるがどうか。
- (4) 各種マニュアルや協定について、実効性の観点から詳細な分析等が必要と考えるがどうか。
- (5) 災害ボランティアの運用について、災害時を想定した詳細な検証と準備が必要と考えるがどうか。
- (6) 防災に関わるあらゆる準備が縦割りにならないように検証し、機能するよう取り組む必要があると考えるがどうか。

2 業務の効率化について

- (1) 新たな技術活用による業務効率化の一層の推進により、職員数の見直しにっなげるべきと考えるがどうか。
- (2) 今後BPRをどのように進めていくのか伺いたい。

3 施策評価の推進について

- (1) 施策ごとの「創造と転換」の進め方を伺いたい。
- (2) 本市の施策評価の取組と類似の取組を行う自治体の有無を伺いたい。
- (3) 「創造と転換」の検討に当たって、所管部署への支援の在り方を伺いたい。
- (4) 施策評価を全庁的に進めていく考えを伺いたい。

4 行政イノベーションについて

- (1) 令和5年度の横浜創造100人隊の実績と課題を伺いたい。
- (2) 令和6年度の横浜創造100人隊の取組を伺いたい。
- (3) 責任職に求められる意識のイノベーションとは何か伺いたい。
- (4) 今後、意識のイノベーションにどう取り組んでいくのか伺いたい。

5 人材の確保について

- (1) 普通退職者全体に占める若手職員の割合が多いことへの認識について伺いたい。
- (2) 人材の流動化が進む中、採用手法の効果検証が重要であると考えているがどうか。
- (3) 職員の定着に向けてどのように人材育成をしていくのか伺いたい。

1 震災対策について

- (1) 「市民の関心を踏まえた自助・共助の意識に関する現状を把握するためのアンケート調査」を実施する狙いを伺いたい。
- (2) アンケート結果をどのように新たな地震防災戦略につなげていくのか伺いたい。
- (要望) アンケート結果を精査し、必要な防災施策を強力に進めていただくことを要望する。

2 100大事業の自己分析に対する外部視点の点検について

- (1) 100大事業の外部点検を実施した感想を伺いたい。
- (2) 令和6年度予算案における外部点検関連での財源創出の受止めについて伺いたい。
- (3) 外部点検を踏まえて、継続的に100大事業の見直しを進めていくための方策を伺いたい。
- (要望) 100大事業以外の事業についても見直しを行うことで、事業の改善、予算の確保に努めていただきたい。

3 女性活躍の推進について

- (1) 男性に比べて女性の係長昇任試験受験率が低い理由を伺いたい。
- (2) 女性職員少人数研修「Next Leadership Academy」の令和5年度を取組を踏まえた令和6年度の方角性を伺いたい。
- (3) 女性職員少人数研修をはじめとした女性活躍に対する思いを伺いたい。

4 障害者雇用の促進について

- (1) 障害のある人を対象とした採用選考の受験者増加に向けた取組を伺いたい。
- (2) 障害のある会計年度任用職員向け研修の実施内容と効果を伺いたい。
- (3) 障害者雇用の牽引役として、今後の雇用促進に向けた意気込みを伺いたい。

(要望) 法定雇用率を達成し、民間企業等をリードしていけるよう取組を進めていただくことを要望する。

1 予算概要について

- (1) 主な事業の最初に「地域防災力の向上と危機対応力の強化」を据えた意図を伺いたい。
- (2) 「市民の安全・安心をお守りするため、ハード・ソフトの両面から、大規模災害を想定した対策を、今後もしっかりと講じていきます。」と市の姿勢を明記した意図を伺いたい。
- (3) 危機管理に関わる総務局は、災害対策について、これまでも最重要視して取り組むべきだったのではないかと考えるがどうか。

2 災害対応力を強化するための女性の視点について

- (1) 災害対応力を強化するため、女性の視点が求められていると考えるがどうか。
- (2) 昨年4月に国から通知された「女性の視点に立った防災復興の取組促進」において、防災会議の女性委員の割合を30%にする目標が掲げられたが、2月に開催された横浜市防災会議でこの点について議論されたのか伺いたい。
- (3) 横浜市防災会議における現在の女性委員の割合を伺いたい。
- (4) 横浜市防災会議の女性委員の割合を増やすことをどのように実現するのか伺いたい。
- (要望) 新年度横浜市防災計画の改定において、女性の視点を含めた改定を行うとともに、政策を議論する場における女性の割合を高めることを要望する。
- (5) 避難所や地域防災拠点の在り方について、女性や障害者、災害弱者など当事者の声を聞いて横浜市防災計画が作られるべきであり、当事者の声を聞きとるための人員配置が必要と考えるがどうか。

3 危機対応力の強化について

- (1) 感震ブレーカーの補助対象を市内全域に拡大した意図を伺いたい。
- (2) 感震ブレーカーが作動して停電になった場合、テレビ・プッシュサービスは機能するのか伺いたい。

- (3) 各家庭において据え置き型ラジオのようなものが必要と考えるがどうか。
- (4) 屋外に防災行政用無線スピーカーが必要と考えるがどうか。
- (5) スマートフォンから個人に対して直接情報を伝える仕組みを検討すべきと考えるがどうか。

1 ドローンを活用した災害時協定について

（１）災害協定において予定している支援活動等について伺いたい。

（２）災害時のドローンの活用に向けた今後の考え方を伺いたい。

（要望）デジタルの最先端技術を取り入れ、市の防災力の更なる向上につなげていただくことを要望する。

2 緊急一時避難施設の指定について

（１）地下施設の緊急一時避難施設の指定状況を伺いたい。

（２）緊急一時避難施設の指定の今後の進め方を伺いたい。

（要望）緊急一時避難施設の指定をより一層進めるとともに、一定期間滞在可能な地下シェルターの整備について検討していただくことを要望する。

3 在宅避難者を含めた地震対策について

（１）在宅避難者を含めた地域防災拠点における食料提供の考え方を伺いたい。

（２）在宅避難者のトイレ支援について伺いたい。

（３）発災時の在宅避難に向けた備えの啓発を更に進めるべきと考えるがどうか。

（４）横浜市防災計画における地震対策の見直しについて伺いたい。

4 横浜市避難ナビアプリについて

（１）横浜市避難ナビアプリの普及に向けた取組状況を伺いたい。

（２）横浜市避難ナビアプリの機能改善について伺いたい。

（３）市民の避難行動を促すための多様な情報ツールを展開していくべきと考えるがどうか。

（要望）発災時に市民が防災情報を速やかに受け取れるよう、引き続き様々な取組を進めていただきたい。

1 防災対策について

- (1) 今回の被災地と本市の違いを伺いたい。
- (2) 現状のライフラインの復旧の考え方を伺いたい。
- (3) 迅速なライフラインの復旧には分野横断的な連携が必要と考えるがどうか。
- (要望) 今回の地震で得た教訓を活かし、様々なケースにも対応し得るより実効性のある対策につなげていただきたい。
- (要望) 災害廃棄物について、総務局が全庁を見渡して今から仮置き場をリストアップするなど、やるべきことを今からしっかりと行っていただくことを要望する。

2 感震ブレーカー等設置推進事業について

- (1) 感震ブレーカー等設置推進事業のこれまでの取組を伺いたい。
- (2) 補助対象を市全域に拡大する狙いを伺いたい。
- (3) 通電火災対策への取組を伺いたい。
- (要望) 防災の取組を一過性のもので終わらせないよう、しっかりと取り組んでいただくことを要望する。

3 歳出改革の取組について

- (1) 令和6年度予算編成における財源創出に総務局としてどのように取り組んだのか伺いたい。
- (2) 令和6年度予算編成における財源創出に向けた経費適正化の取組を伺いたい。
- (3) 歳出改革の今後の進め方を伺いたい。

4 アナログ規制の見直しについて

- (1) アナログ規制の見直しに係る本市の進捗状況を伺いたい。
- (2) アナログ規制を見直すことによる変化を伺いたい。
- (3) デジタルの利用を得意としない方々にも配慮すべきと考えるがどうか。

(要望) デジタルの利用を得意としない方々や安全性の確保に配慮しながら今回の取組を市民サービスの向上につなげていただきたい。

5 市庁舎低層階のにぎわい創出について

(1) アトリウムの稼働率と利用状況及び令和6年度の利用予定を伺いたい。

(2) 令和5年度の子育て世代向けイベントの内容と成果及び令和6年度の開催予定と狙いを伺いたい。

(3) アトリウムを活用したのにぎわい創出に向けた意気込みを伺いたい。

6 市職員の人材育成について

(1) 人材育成ビジョンを改定する背景を伺いたい。

(2) 新たな人材育成ビジョンに基づく今後の取組を伺いたい。

(3) 新たな人材育成ビジョンを推進するに当たっての考えを伺いたい。

(要望) 横浜市の持続的な発展のため、しっかりと人材ビジョンを意識して取り組んでいただきたい。

1 地震防災対策について

- (1) 過去の震災の教訓を伺いたい。
- (2) 現時点で考えられる課題を伺いたい。
- (3) 地震防災対策の見直しの進め方を伺いたい。
- (要望) 横浜市で起こり得る事態を想定し、すでに計画されている対策についても具体化されていないところはないか等を確認し、大都市横浜に適したものにしていきたい。

2 災害対策備蓄事業について

- (1) 液体ミルクの備蓄を開始する理由を伺いたい。
- (2) 地域防災拠点での液体ミルクの備蓄に期待する効果を伺いたい。
- (3) 備蓄品の有効活用の状況を伺いたい。
- (4) 備蓄品の選定時には、廃棄時の有効活用という視点を持つべきと考えるがどうか。
- (要望) 公助としての備蓄についても、このような視点を持った検討を進めることを要望する。

3 情報伝達手段強化等事業について

- (1) 補助の対象者の考え方を伺いたい。
- (2) 本事業の周知方法を伺いたい。
- (要望) 本事業の存在を知っていただけるよう、しっかり周知していただきたい。

4 経費適正化の推進について

- (1) 経費適正化の狙いと令和5年度を取組を伺いたい。
- (2) 令和6年度の経費適正化の取組の考え方を伺いたい。
- (3) 今後の経費適正化の取組の庁内への展開・内製化の進め方を伺いたい。
- (要望) これまでで得たノウハウを庁内で共有し、実行するマインドを浸透させる

ことで、行政コストの持続的な抑制を図っていただきたい。

5 障害者雇用の促進について

(1) 本市における精神障害のある職員数の推移について伺いたい。

(2) 障害のある職員の職場定着に向けた取組を伺いたい。

(3) 更なる雇用拡大のためには、現在の枠組みにとらわれず多様な働き方を用意していく必要があると考えるがどうか。

(要望) 障害のある職員に対し、自身の能力を遺憾なく発揮できる環境づくりを進めていただくことを要望する。

1 地震防災戦略の推進について

(1) 地震防災戦略事業費をより一層増やしていくべきと考えるがどうか。

(要望) 防災対策をソフト・ハードの両面から進めるために、各事業の予算確保を所管部局に任せるだけではなく、戦略を統括する危機管理室が積極的に関与しながら必要な予算をしっかりと確保して、対策強化に努めていただくことを要望する。

2 感震ブレーカーについて

(1) 感震ブレーカーの設置上の注意点もしっかり伝えながら普及させるべきと考えるがどうか。

(2) 特定遮断型の感震ブレーカーも補助の対象とすべきと考えるがどうか。

(要望) 家全体が停電することへのご不安の声にも耳を傾けながら進めていただくことを要望する。

3 地域における防災力の向上について

(1) 地域防災力の向上に防災士を活用すべきと考えるがどうか。

(2) 地域防災拠点運営委員に対し、補足的避難所の場所や運営方法の周知を徹底すべきと考えるがどうか。

4 災害時の情報伝達手段について

(1) 防災情報ポータルと避難ナビの違いや、一方にあってもう一方にはないものは何か伺いたい。

(2) LINE利用者にプッシュ型通知が届くよう、受信設定が必要なことを、計画立てて周知すべきと考えるがどうか。

5 市庁舎エレベーターの防災グッズについて

(1) 市庁舎内のエレベーターに防災用備蓄を行うべきと考えるがどうか。

(要望) 早期の設置に向けて検討していただきたい。

6 組織力の向上と1 on 1 ミーティング支援について

(1) 人材育成等を通じて、組織力を向上させていくべきと考えるがどうか。

(2) これまでの1 on 1 ミーティング支援の成果と課題を伺いたい。

1 危機対処計画等修正検討事業について

(1) 本事業の進め方を伺いたい。

2 マンション防災について

(1) 一体的に進めると答弁したマンション防災の取組の現状を伺いたい。

(2) 主たる避難先となる地域防災拠点の配置基準、備蓄数及び配布対象の根拠となる被害想定があるのか、また、十分な対応となっているか伺いたい。

(3) マンション居住者が在宅避難を行うことの意義を伺いたい。

(4) マンション居住者に在宅避難を実行してもらうために必要なことを伺いたい。

(5) 新たな地震防災戦略においてマンション防災の位置付けを進めて拠点としての機能を充実させるべきと考えるがどうか。

(6) 実際に災害が発生した際には、補充的避難所を現状に沿って運営できるように検討する必要があると考えるがどうか。

(7) 建築局の事業「よこはま防災力向上マンション認定制度」への総務局としての協力内容と今後の連携について伺いたい。

(要望) 新たな地震防災戦略の策定に係るプロジェクトチーム立上げの際に、よこはま防災力向上マンション認定制度で交流が生まれたマンション居住者の方にメンバーに入っていただくように要望する。

(要望) 市民が国から直接補助を得られる事業について、市として積極的にサポートしていくことを要望する。

9 大野 トモイ 委員（トモイ）

1 地震への備えについて

- (1) 地域防災拠点での障害者受入体制、受入を想定した拠点訓練の内容と実績値を伺いたい。
- (2) 拠点で受け入れてもらえるか不安との障害当事者の声を伝えた際の「そんな心配より在宅避難の準備をしてほしい」との所管課職員の発言は、本市正式見解か伺いたい。
- (3) 本会議や委員会での質問を拒んだ所管課職員の言動は、当事者を軽んじ、また、本市議会基本条例に反し、不適切と考えるがどうか。
- (4) 防災計画や地震防災戦略を総点検し、誰一人取り残されない支援策、障害当事者の声を反映した支援策を実施すべきと考えるがどうか。
- (5) 障害当事者の意見も取り入れた支援策を実施すべきと考えるがどうか。